

受注統計はこんなところで使われています！

受注統計を通じた建設業の実態把握の結果が、国による新しいサービスの企画立案に活かされており、建設業に携わる皆様への支援に繋がっております。

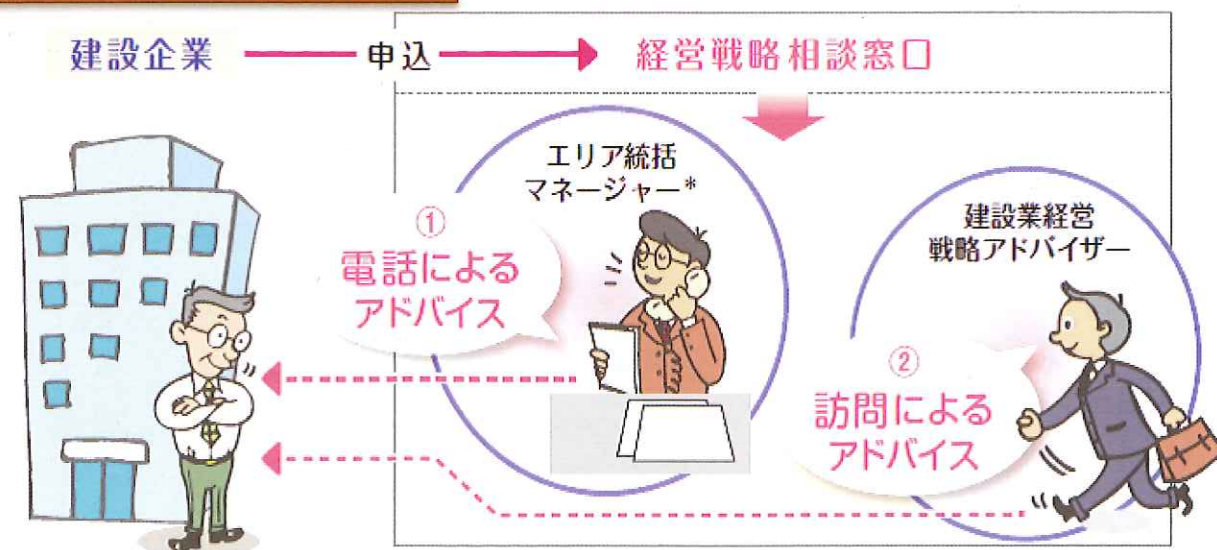
▼具体例

建設企業のための 経営戦略アドバイザー事業

【事業概要】

中小・中堅建設企業の新事業展開、企業再編・廃業等の経営戦略の実現を支援するため、「経営戦略相談窓口」を設置し、「エリア統括マネージャー」の統括のもと、各分野の専門家から構成される「建設業経営戦略アドバイザー」によるアドバイスを実施。特に新事業展開、企業再編・廃業に関してはアドバイザーによる支援チームの組成、目標達成まで継続支援。

アドバイスの流れ



*経営戦略アドバイザーからブロックごとに選定。(全国11ブロック)

(事業担当部局：土地・建設産業局建設市場整備課)

ノウハウ・技術移転支援事業

【事業概要】

中小建設企業の新事業展開、経営力の強化を支援するため、大手・中堅建設企業が有するノウハウ・技術を集約し、中小建設企業に対して紹介・提供する「ノウハウ・技術支援センター」を設置し、①技術マッチング支援事業、②ノウハウアドバイス支援事業を実施する。

①技術マッチング支援事業

●大手企業等が保有する特許技術、工法、資機材等をセンターが募集・集約し、当該技術等の取得・使用を希望する中小建設企業に対して紹介します。

●必要に応じて、当該技術等の取得・使用に係る契約締結等の支援を実施します。

※取得・使用に係る交渉は両者で直接実施して頂きます。

②ノウハウアドバイス支援事業

●建設工事に関する課題を抱える中小建設企業に対して、センターに所属する専門家（大手建設企業の現役・OB技術者等）が入札から竣工に至るまでの各段階に係るノウハウアドバイスを実施します。

(事業担当部局：土地・建設産業局建設市場整備課)